

1 出場と登録・ユニフォーム

- (1) 原則として通学する学校にあるチームにおいて、同一小学校で男女別チームを編成する。ただし一定の条件の下で登録するチームを認める。一定の条件の下に関しては、①②に記載し、地区の理事会をもって認める。
 - ① 同市町村内の小学校または、名護、半島、金武・宜野座、辺土名ブロック内での登録。
 - ② 通学する学校にチームがない場合、またはチームとして出場ができない場合。
- (2) 出場するカテゴリーを男子ABC, 女子ABC, 混成の7つのカテゴリーに分ける。
- (3) 選手の登録・出場は、原則A・Bチーム・合同・混成とも10名以上とし、20名までできる。Cチームは、5名以上10名までとする。
- (4) チームの登録人数が10名満たない学校において、8名での登録、出場を認める。ただし、10名以上登録がいるにもかかわらず、登録を8名にして出場することは認めない。8名の場合は、理事会の承認をもって、出場を認める。(出場できないチームへの措置で有ること)
- (5) Aチームは6年生以下、Bチームは、5年生以下、Cチームは、3年生以下とする。
※新人大会は、Aチーム5年生以下、Bチーム4年生以下、Cチームは、3年生以下とする。
- (6) 背番号は原則として4~23までの一連番号とする。
- (7) ユニフォームは、濃淡2色用意するものとする。ゲームベストや学校体育着にゼッケンでもかまわない。
- (8) ①~②の条件においては出場を認めない。
 - ①所属先のチームの所属人数もしくは登録の人数が、申し込みの際、10名以上である場合において、10名そろわない場合。ただし、何らかの事情で、試合当日に10名そろわないことが明確な場合、出場できる選手で試合を行うことを認める。その際は、0対20で相手の勝ちとする。
 - ②所属先のチームの所属人数もしくは登録の人数が、申し込みの際、8名である場合において、8名そろわない場合。相手チームとの相談の上、試合を行うか決める。その際、相手チームの考えに従い、試合を行う場合は、2クォーターとする。0対20で相手の勝ちとする。
- (9) チームごとに審判員・コミッショナーを確実に帯同すること。
- (10) チーム名は、学校名を入れて登録すること。
例 ①名護小学校A
②名護小学校 HAWKS
× ③国頭 Dolphins
※ 合同チームの場合は、在籍する選手が多い小学校名を優先すること。
- (11) 各カテゴリーでの出場する際の詳細については、下記の2~5に記載する。

2 男女A・Bチーム

- (1) 各チーム6年生が1人でもいた場合は、Aチームトーナメントに出場すること。
- (2) チームに6年生が、16名以上いる場合は、Aチームを2つ出場できる。それぞれのチームは、10名以上の登録を行うこととし、どちらも6年生が在籍するものとする。A1, A2を出した場合、登録メンバーは、チームにゆだねる。
- (3) 単一小学校(合同チームも含む)で登録する5年生以下でしか編成できない場合は、AチームかBチームを選択し、参加できる。

3 男女Cチーム

- (1) ABチームのゲーム出場と兼ねて出場することができる。
- (2) 男女混成の場合は、男子パートに出場できる。

4 合同

- (1) 合同チームでのAチーム大会への参加を認める。但し、単一小学校で、男子及び女子のチームがそれぞれ、8名満たない場合に限り、1(1), (4)に該当する範囲で合同チームでの出場を認める。また、①~③を遵守すること。

- ① 日頃、通学する小学校で活動し、週末等に、共に活動できる場合。
- ② 保護者の送迎が可能である場合。
- ③ 特に合同チームにおいては、それぞれの学校行事を優先すること。ただし、単一チームにおいても同様。

5 混成

- (1) 出場できる条件を次のようにする。
 - ① 同一小学校で男女別チームが編成できない場合
 - ② 合同チームであっても、男女が混ざっている場合
 - ③ 各クォーターに男女混ざっていて、かつ123クォーター連続出場しない編成であること。
(男子または女子が、必ず2名以上いるチームであること)
 - (2) 混成チームの出場が2チーム以下だった場合は、男子チームに入れることを検討する。
- ※ 地区大会は、混成として出場し、県大会においては、合同チームでの参加も理事会で検討し、出場を考慮する。

6 移籍

これまで登録していたチームとは異なるチームへ登録すること。前年度に登録しているチームをかえることは移籍となる。移籍する場合は、特別な事情があれば、理事会の承認をもってこれを認める。特別な事情とは、① 転居 ② 人間関係のトラブル これ以外での移籍は認めない。

7 ルールの改正（平成31年度から引き続きの確認事項）

- (1) 24秒（14秒）を採用する。14秒は、オフェンスリバウンドの時のみ、14秒リセット。
ただしオフェンスリバウンドでの14秒に戻せるデジタイマーを採用するか、なければ、ストップウォッチでの対応を行う。
- (2) 前半（1・2クォーター）後半（3・4クォーター）でのタイムアウトは、2回ずつ取ることができる。
ただし、45秒。選手の交代は、4クォーター自由。（審判が止めた場合）
- (3) 現行のスコアシートを採用し、タイムアウト欄を二重線などで訂正して使用する。
- (4) コミッショナー

① 1回目の赤旗（フェ等で止めて知らせる）	警告
② 2回目の赤旗（フェ等で止めて、ベンチテクニカルで1ショット）	M1
③ 3回目の赤旗（フェ等で止めて、ベンチテクニカルで1ショット）	M2
④ 4回目の赤旗（監督の退場で、3回目と同じ処置）	M3

※ 警告では、保持しているチームのボールで試合再開。
M1より反則されたチームのマイボールで試合再開。

連絡

スポ少の派遣枠 男子② 女子② → 男子① 女子①
 全関西をあわせて 男子③ 女子③ → 男子② 女子②
 派遣枠のない地区がでてくる。 (R2より)